



RFL通信

Vol.8 7月号

発行: 特定非営利活動法人 Return to Forest Life
住所: 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2816
FAX: 03-5737-9552
ホームページ: <http://www.returntoforestlife.or.jp/>
E-mail: info@returntoforestlife.or.jp



～間伐材のいろいろな有効活用方法にチャレンジ中です～

ワタミの森で出た間伐材を介護施設の建材や、ペレットへの加工以外にも小さなお子様も楽しんで作れる工作キット等へ活用していくことにも現在取り組んでいます！

事務局長メッセージ

森の価値について過去2回は『炭素循環』と『水の循環』について説明させていただきました。今回は『材としての活用』について説明させていただきます。



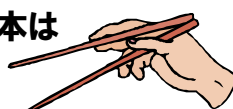
■皆さんの身の周りに木材はどの程度使われていますか？

おそらく、戸建て住宅に住んでいる方は柱や床材に使われていると思います。また、マンションやアパートに住まわれている方では、椅子や机の家具に使われていると思います。さらに日々接するものでは割り箸などの小物、あるいは紙などが頭に浮かんだことと思います。『木調』、あるいは『木目調』というように、化学製品でできているシートを張ったものもありますので、注意して確認してみてくださいね。

～更に質問です！それらの木材のうち、『国産の木材』はどの程度使われていると思いますか？～

実は、日本は国土に占める森林が約70%と世界でも有数の森の国なのですが、2010年時点の木材自給率はわずか27.8%(林野庁:木材需給表より)なのです。日本は木材の輸入に依存した国でもあります。1996年には金額ベースで木材輸入額世界1位でした。10年後の2006年でも世界3位(FAO2009データより)と変わらずトップクラスにいます。家具や日頃使用している紙、割り箸のほとんどが海外産の木材で出来ています。それらのうち約20%は違法伐採による木材と言われていることも問題です。

このような状況のため、世界の森林保護団体からは、『なぜ日本は国産を使わないのか？』との声が上がっています。



■なぜ日本は国産材を使わなくなったのか

その理由は簡単で『コスト』です。戦後に木材が足りず始まった、木材輸入の全面自由化(1964年)で輸入される木材のほとんどが天然木(手入れコストがかからない)のため当時の国産材に比べると格安で非常に重宝されました。そしてその間に国産材の流通経路が途切れてしまい、戦後に日本各地で植林した人工林が育っても市場に出すことが難しくなりました。人工林は人が手を入れないと荒れてしまいます。しかし木材が売れない以上手入れをすればコストばかりかかるため放置され荒廃している人工林が日本各地にあります。自給率が低下した結果、世界の森を伐採しながら、日本の森も荒らしてしまっているという事になりますね。

■見直され始めた国産材の利用

最近になって、ようやく国産材の価値が見直され始めました。木のぬくもりもさることながら、木は材として活用されている間、生き続けています。呼吸をして湿度調整をしてくれます。高温多湿の夏は水分をたっぷり吸いこんでくれ、乾燥した冬には木材の水分を出してくれます。その湿度調整を適性にしてくれる木材は日本の風土に合ったもの、つまり四季を乗り越えて育った国産材が最適ということになります。コンクリートの寿命は約50年と言われています。それに対して木は大切に適切に使えば、法隆寺のように1000年以上も生き続けて、私たちを守ってくれるのです。

「日本の木を使うことは日本の森を守り、世界の森を守ることに繋がる」RFLでは、森林保全活動を通して排出される間伐材を有効に活用していきたいと考えています。

(事務局長 小出)

会員活動報告 2012年 6月 活動内容

□6月9日・16日 郁文館夢学園 中学1年生A・Bクラスの皆様が活動に参加

郁文館夢学園の中学1年生が毎年活動に参加して下さっています。あいにくの雨模様でしたが、スタッフの森の話も一生懸命聞き作業も元気いっぱいに取り組んで下さいました。昨年の先輩が植えた植樹の雑草抜きも手伝って頂きました。



□6月10日 ワタミ手づくりマーチャンドライジング(株)関西センターの10名様が大坂で活動されている『日本森林ボランティア教会』様の森林再生活動に参加

地元の環境貢献にも繋がる活動の日となりました。国有林のヒノキとスギを間伐する作業を手伝わせて頂きました。『何故間伐が必要なのか』という話も現地のスタッフの方から説明して頂き、参加した方からは『継続して参加していきたい』との声も頂きました。9月からは外食やタクシヨク、介護の方にもご参加いただけるように準備してまいります。



□6月24日 ワタミの介護(株)から15名様が活動に参加

千葉県山武市の森で林地残材の整理&植樹を行いました。そのまま放置していたら腐ってしまうだけの林地残材を搬出するための準備です。2班に分かれて運搬し、30分で1班約10本を運搬できました。道の際に積んだ材を今後搬出して行く予定です。大変でしたが、材の活用のために大切な活動を行うことが出来ました。



□6月27日 ワタミ手づくりマーチャンドライジング(株)から15名様が活動に参加

前回同様、千葉県山武市の森で林地残材の整理&植樹を行い門司社長にもご参加いただきました。2班に分かれて作業をしたところなんと1時間で79本を運搬することが出来ました!!



□6月30日 ワタミグループの株主総会にてブース出店させて頂きました。



輪切りにした間伐材に絵を描いてキーホルダーやペンダントにする、キッズ向けの工作コーナーを設置。AM10:00~PM3:00で140名のお子様や株主様がブースに来てくださいました。人工のおもちゃには無い『匂い』や『いろいろな形』を感じていただけるようにヤスリで削る作業も取り入れました。



←【ワタミの森のお箸も販売させて頂きました】
間伐材で出来たお箸は115膳販売し完売。
売上金は森の活動に寄付させて頂きます。

【2012年 森林再生活動における6月末時点の進捗状況】

- ①ワタミの森での間伐目標年間300本 6月 0本 累計120本
- ②ワタミの森での植樹目標年間380本 6月 112本 累計 207本
- ③環境教育 参加目標年間 1500人 6月 148人 累計550人

2012年会員数(7月1日現在)

100円サポーター	3025人
賛助会員	1362人
正会員	22人

ご協力頂き誠にありがとうございます